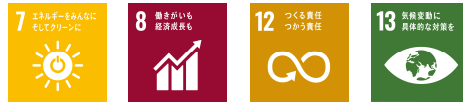


SDGsへの挑戦 – それぞれのきっかけからメリットまで！ –

事業者		グローバル・コーティング株式会社 (上尾事業所)	
所在地	埼玉県上尾市	業種	金属製品製造業
設立	1977年	環境経営継続期間	7年
従業員数	30名	SDGs取組開始年	2019年



- 50年後の子供や孫の世代に、よりよい社会や環境を残したい
- 従来の環境を意識した取組がSDGsに貢献できることを周知

2. SDGsを意識した取組の意義・効果・変化

■ 取組の意義

- 50年後の子供や孫の世代に、よりよい社会や環境を残すための取組と考えている。
- 環境経営は、エネルギー費削減などですぐに利益につながるものであるのに対し、SDGsは個人の意識に関わる部分が多い。従業員に教育の機会を提供すべきという考えのもと、企業としてSDGsに取組み、勉強会などを行っている。

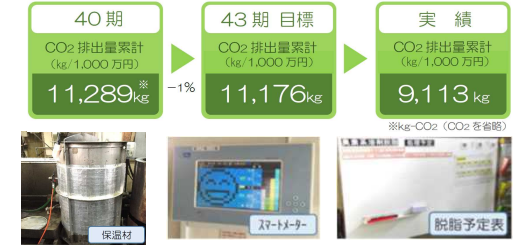


トラスト地での環境保全活動

1. SDGsを意識した取組の現状と経緯

■ 取組の現状

- エコアクション21 (EA21) に基づいた環境経営を継続。省エネ等によるCO₂削減、梱包材等の廃棄物削減などに取組んでいる。
- 年1～2回程度、業務の一貫として従業員全員が近隣のトラスト地の保全活動に参加している。



CO₂排出削減の成果と取組の例

■ 取組を始めた経緯

- エコプロダクツ展で持続可能な社会への取組があることを知り、それらを子どもがよく勉強していることを目にした。
- EA21の優良事業者研究会でSDGsに取組んでいる事業者を訪問し、自社でも取り入れたいと考えた。

3. 取組の進め方

- 経営層の指示のもと、EA21の担当者が各部署の環境リーダーに対しSDGsに関する勉強会を実施した。
- その後、全従業員に対する勉強会を行った。追加の業務が発生するのではないかという抵抗感を無くしてもらうために、これまでの環境を意識した取組がSDGsに貢献することを説明した。
- 勉強会では、SDGsを知っているか、やっているかなどを聞き、「自分ができるSDGs」を考える活動から始めた。
- EA21を導入していたことが、SDGsに取組みやすくしていると感じている。

社内教育資料

SDGs (エスディーエス) は、「持続可能な開発目標」という意味で、すなわち「社会の課題」です。この課題向け、17 個の目標が設定されており、「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」や、「気候変動に具体的な対策を」などの目標が掲げられています。

グローバル・コーティングがSDGs 活動に取り組む理由は？

SDGs 活動の目的

- 持続可能な経済・社会づくりに貢献
- 企業価値の向上
- グローバル・コーティング (株) CSR (会社の社会的責任)
- SDGs 活動を通して利益を生む仕組みをつくり持続可能な会社になろう！
- 一人一人の生活を豊かものになろう！
- 社会貢献=家族や自分のためでもあります

グローバル・コーティング (株) 主要課題と活動

- 環境意識向上の推進
- エコアクション21活動など